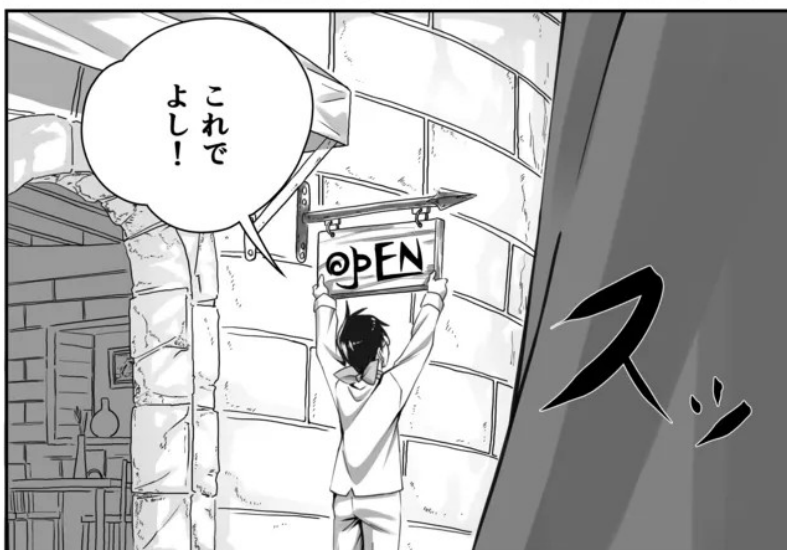
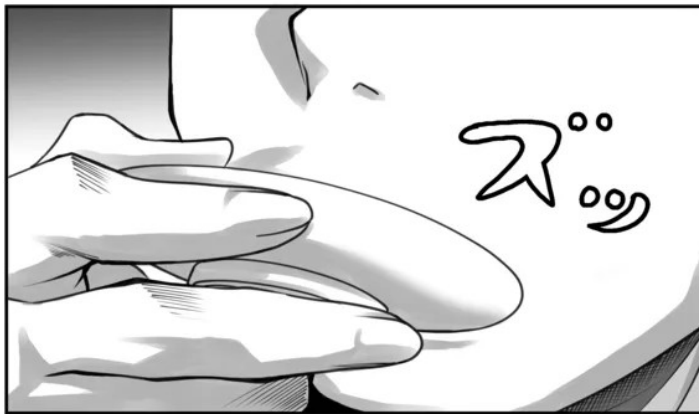


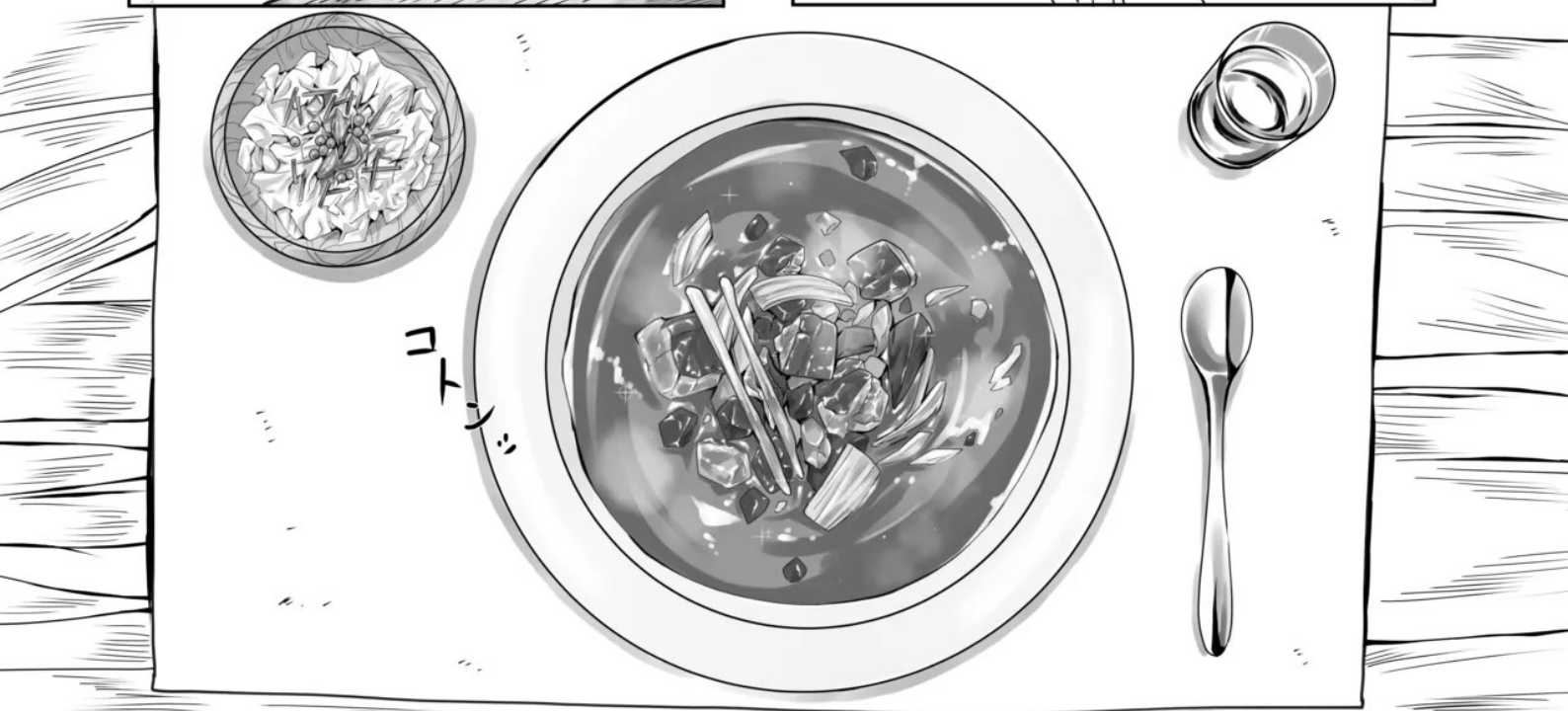
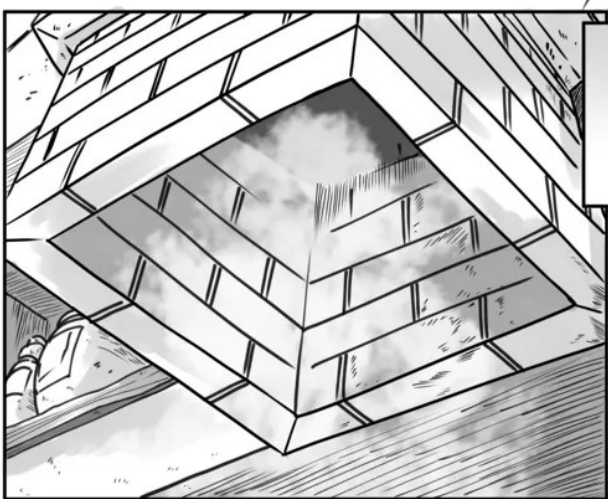
ま
おうさまの

し
よくじ



まおうさまのしよくじ

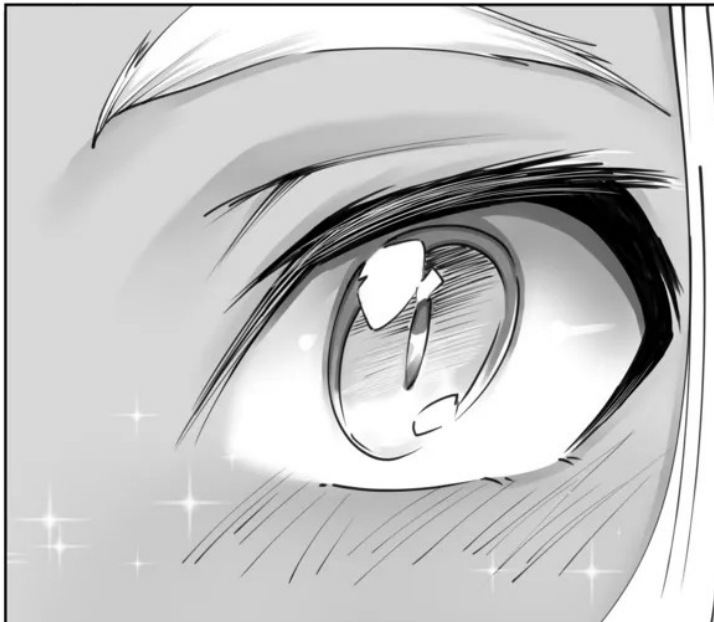
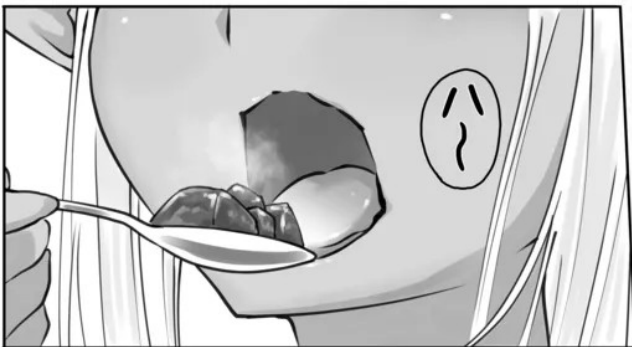


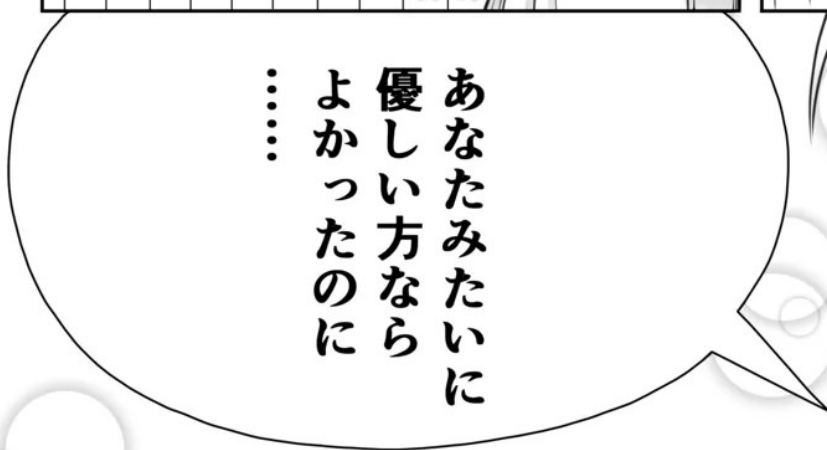


ある事情で家出をしたのは
いいのですが

マナが尽きてしまって…

そうか…









この方は魔族の王

ユーナ様です



魔族の女性は
一定の年齢になると
成長による急激な
魔力の消費によって
死に至ります

それを回避するため
外部からの補充が
必要なのです



つまり
殿方と交わう
ことにより
マナの補充と
ともに

種族の
維持をはかって
いるのです

なのに
ユーナ様
ときたら
……

クド
クド…

わたし……





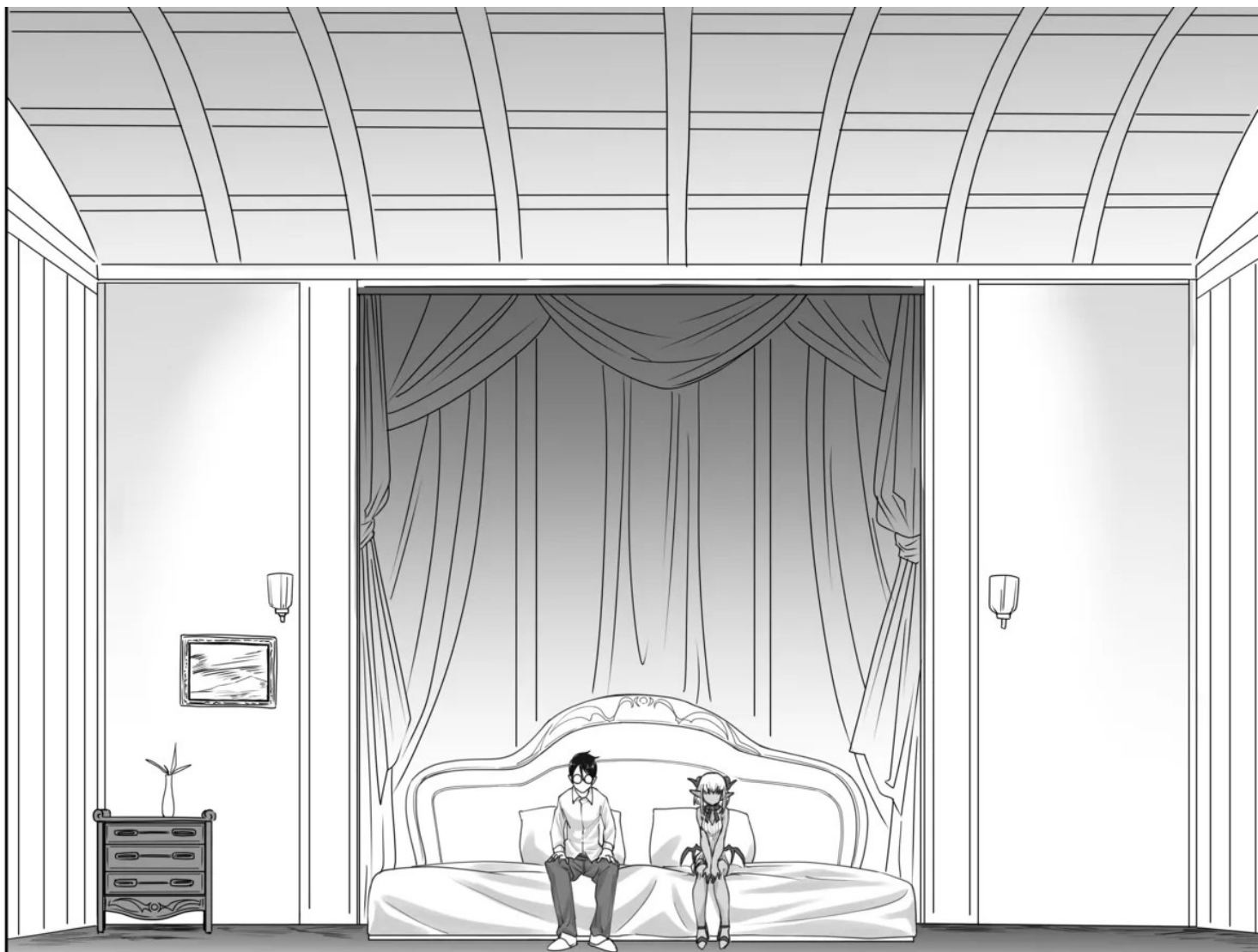
この方に
決めました!

グイッ

な...

な...

なんだ
なんです
ってー!



イヴはとてもいい子
なんです...!!
わたしのことになる
とちよっとやりすぎて
しまうんです

ちよっと大変
だったけど

気にしないで
いいよ!

ご...ごめんなさい
こんなことになってしまって

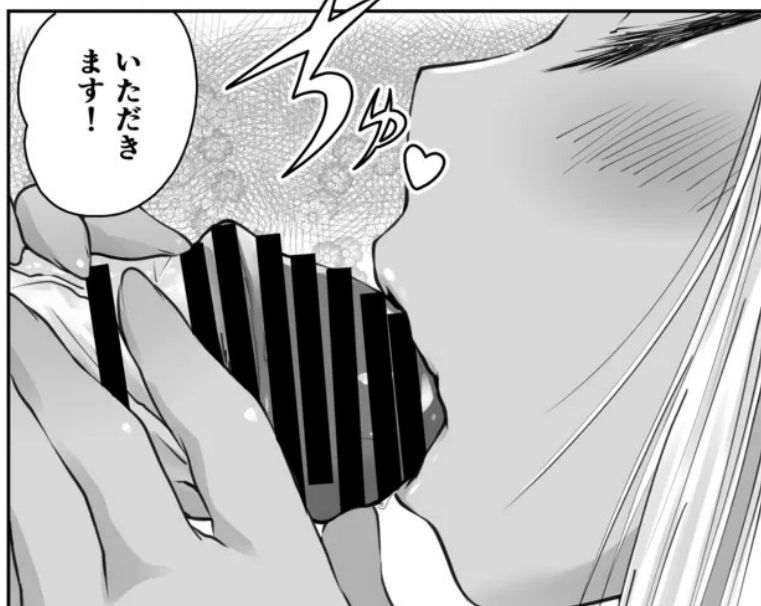
私は殿方を自分で見つけようと思っていたのですが
イヴはお見合いで無理やりあてがおうとしたので
家出をしてしまいました…

でも逃げ出してよかったです
あなたに会えたので！

あなたの精子^{マ+}を
私にいただけませんか？

嫌でしたら
もちろん断わって下さい…







カリと先っぽも舐めてみて...



う.....ぐ.....
すごくいいよ...



うあっ!
そんなに啜え込んだら



上手にできて
ますか?

す...すごく上手だよ
ヤバイ...い...いきそ...ッ!

出るよ！

ガッ

んふっ

んふっ

ドクッ

んふっ

どく、どく、

ユーナ
オレの精子の
味はどう？

んあっ♡
凄くおいひいれす！
マナが体を巡っているのが
わかります！

はっふ

はっふ

はき

トッ

むいっ

コッ





ココも

ん♡

ココも

ふぁ♡

ココも

ちゅ♡
ん♡



ココも

ん♡あ...♡



ココも



全部
おいしい...!

ん♡あ♡

ん♡

ちゅ♡

ん♡





ユーナ
いただきますの
挨拶しようか

はぁ
はぁ

はぁ...♡



食事の準備
バッチリだね！

はぁ♡
はぁ♡



あなたの
精子♡

膣内にいっぱい
注ぎ込んでください♡

はぁ♡

よくできたね
じゃあメインディッシュ
いくよ

お願いします！

どうぞ召し上がれ

ぬち

ふきに

あぁあ

ぬち

ぬち

ぐち

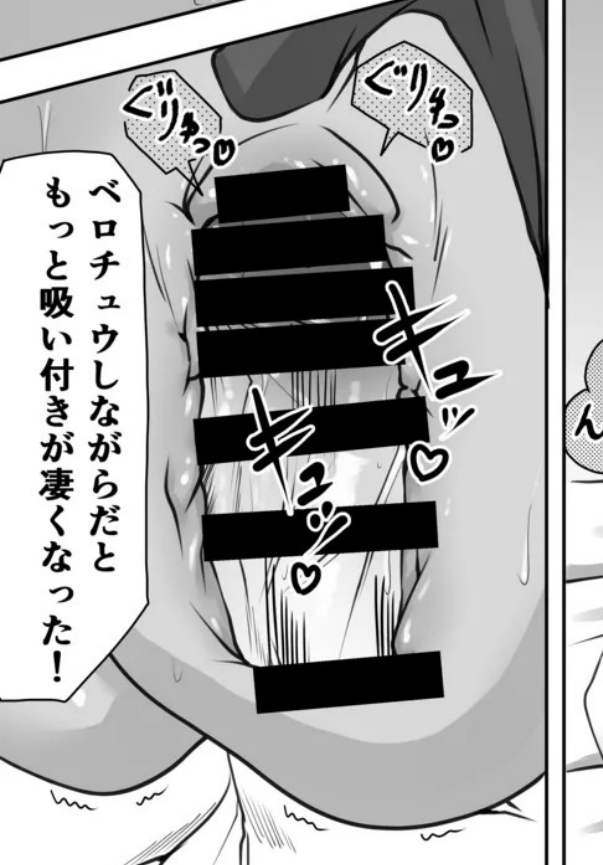
く……っ！
精子が
欲しい欲しいって
吸いついてくる

あ

ん

あ

あ







まだマナ足りないよね
今度はユーナからやって
欲しいな



ユーナ頑張って



は…
入りました

まだ余ってるよ

で…
でも…もう入ら…





